

## 動物実験等の実施状況

(平成 2 5 年度)

研究所名：近畿中国四国農業研究センター

| 1. 動物実験等の実施件数等  |     |     |      |     |     | 実施件数合計 |     |     |
|---|-----|-----|------|-----|-----|--------|-----|-----|
|   |     |     |      |     |     | 1 5 件  |     |     |
| 小哺乳類  |     |     | 大哺乳類 |     |     | 鳥 類    |     |     |
| 動物種   | 件 数 | 飼養数 | 動物種  | 件 数 | 飼養数 | 動物種    | 件 数 | 飼養数 |
| マウス   | 1   | 19  | ウシ   | 10  | 161 | ニワトリ   | 0   | 0   |
| ラット   | 0   | 0   | ブタ   | 0   | 0   | ウズラ    | 0   | 0   |
| ハムスター   | 0   | 0   | ヤギ   | 0   | 0   | カラス    | 0   | 0   |
| モルモット   | 0   | 0   | ヒツジ  | 0   | 0   | 爬虫類    |     |     |
| ウサギ   | 0   | 0   | イヌ   | 0   | 0   |        |     |     |
|   |     |     | ネコ   | 0   | 0   |        |     |     |
|   |     |     | サル   | 0   | 0   | 動物種    | 件 数 | 飼養数 |
|   |     |     | イノシシ | 3   | 9   |        |     |     |
|   |     |     | タヌキ  | 0   | 0   |        |     |     |
|   |     |     | アナグマ | 3   | 4   |        |     |     |
|   |     |     | テン   | 1   | 4   |        |     |     |
| <p>2. 動物実験の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 黒毛和種肉用牛の品種特性を活かした自給粗飼料給与による産肉特性の遺伝子解析等による解明</li> <li>● ウシの体毛や頸静脈血由来の DNA を用いた CD38 遺伝子の変異の同定</li> <li>● 舎飼・放牧飼養雌牛の血液中の代謝成分値の調査</li> <li>● 地域自給飼料を用いた飼養形態における肉用牛の胎子血液中の生化学成分・繁殖関連ホルモン・酸化ストレス度と分娩後の卵巣動態・繁殖性との関係性の調査</li> <li>● 分娩後のホルモン製剤投与による黒毛和種繁殖牛の 1 年 1 産繁殖サイクル技術体系の開発</li> <li>● 肉用種繁殖牛への繁殖ステージに合わせた微細断稲 WCS 利用給与技術の開発</li> <li>● 野草主体の飼養条件下における放牧牛の栄養状態・肉質等の調査</li> <li>● イノシシの学習能力や採食戦略、侵入防止柵と捕獲檻に対する行動、分娩および子育て様式の解明</li> <li>● アナグマやテンの登坂能力等の運動能力および侵入行動の解明</li> <li>● 暑熱・冷涼環境下と通常の飼養環境下における肉用牛の生産性等の調査</li> <li>● マウスを用いたロスマリン酸の抗肥満効果の実証</li> </ul> |     |     |      |     |     |        |     |     |

備考 1 ○○の箇所には和暦を記載すること。

2 「1. 動物実験等の実施件数等」の欄は、報告する年度における動物実験等の実施件数の総数、動物種（上記に表示のない動物種による動物実験等を実施している場合は、当該動物種名を新たに記載すること。）ごとの件数及び飼養数について記載すること。

3 「2. 動物実験の主な内容」の欄は、報告する年度において実施した主要な動物実験の目的や実験方法等の内容について簡潔に記載すること。

## 動物実験に関する自己点検及び評価報告書

(平成 25 年度)

研究所名：近畿中国四国農業研究センター

### 1 所内要領

- a 規程に適合した所内要領が定められている。  
 b 所内要領は定められているが、改善すべき点がある。

①改善を要する点

②改善の方針及び時期等

### 2 動物実験委員会

- a 規程に適合した動物実験委員会が設置されている。  
 b 動物実験委員会は設置されているが、改善すべき点がある。

①改善を要する点

②改善の方針及び時期等

### 3 動物実験管理者

- a 規程に適合した実験動物管理者が置かれている。  
 b 動物実験管理者は置かれているが、一部に改善すべき点がある。

①改善を要する点

②改善の方針及び時期等

### 4 施設等の指定

- a 施設等は、動物実験委員会で審査され、規程に適合したものが適切に指定され、指定施設等においてのみ飼養管理及び動物実験が行われている。  
 b 施設等の指定に関して問題がある。

①問題点

②改善の方針及び時期等

### 5 施設等の維持管理

- a 施設等は適切に維持管理されている。  
 b 施設等の維持管理に問題がある。

①問題点

②改善の方針及び時期等

### 6 動物実験計画の審査及び実施

- a 動物実験計画は、規程に従って適切に審査、実施されている。  
 b 動物実験計画の審査、実施に関して問題がある。

①問題点

②改善の方針及び時期等

7 動物実験の実施結果報告

- a 動物実験の実施結果は適切に研究所等の長へ報告され、取りまとめた実施状況は理事長へ報告されている。
- b 動物実験の実施結果の報告に関して問題がある。

|             |
|-------------|
| ①問題点        |
| ②改善の方針及び時期等 |

8 実験動物の健康及び安全の保持

- a 飼養保管や輸送において、規程に定められた実験動物の健康・安全の保持の措置が適切に行われている。
- b 飼養保管や輸送において、実験動物の健康・安全の保持に関して問題がある。

|             |
|-------------|
| ①問題点        |
| ②改善の方針及び時期等 |

9 生活環境の保全

- a 規程に従い、施設等及びその周辺の生活環境の保全に努めている。
- b 施設等及びその周辺の生活環境の保全に関し問題がある。

|             |
|-------------|
| ①問題点        |
| ②改善の方針及び時期等 |

10 人への危害・環境保全上の問題の防止

- a 規程に従い、人への危害や環境保全上の問題が適切に防止されている。
- b 人への危害や環境保全上の問題の防止に関し問題がある。

|             |
|-------------|
| ①問題点        |
| ②改善の方針及び時期等 |

11 安全管理に注意を要する動物実験（遺伝子組換え動物、感染症等に係る実験）

- a 安全管理に注意を要する動物実験について、規程及び関連法令に適合した実施体制が確保され、安全に実験が行われている。
- b 安全管理に注意を要する動物実験について問題がある。

|             |
|-------------|
| ①問題点        |
| ②改善の方針及び時期等 |

- d 安全管理に特に注意を要する動物実験は実施していない。

12 地震、火事等の緊急時の対応

- a 緊急事態に備えた措置に関する計画が定められ、緊急時の対応に問題はない。
- b 緊急事態に対する備え、対応に関して問題がある。

|             |
|-------------|
| ①問題点        |
| ②改善の方針及び時期等 |

13 教育訓練

- a 規程に沿って、教育訓練が実施されている。
- b 教育訓練は実施されているが、問題がある。

|             |
|-------------|
| ①問題点        |
| ②改善の方針及び時期等 |

c 必要な教育訓練が実施されていない。

○実施の方針及び予定等

d 当該年度には、教育訓練が必要な者はいなかったため、実施せず。

- 備考
- 1 ○○の箇所には和暦を記載すること。
  - 2 該当する評価結果の□に✓印を記入すること。
  - 3 評価結果が「b」又は「c」に該当した場合は、当該評価結果の下の欄に表示している事柄について、当該欄にその内容を記載すること。